

令和7（2025）年度第2期 前期課程

科目名	出題意図
【一般選抜】 外国語（英語）	【設問I】では日本社会における教育の公平・多様性・多文化共生に対する理解に関する論文を採用し、論文の主旨に対する理解および論文の中の言葉の関連性について、英語から日本語への翻訳が分かりやすくできるかどうかを問う問題とした。【設問II】では教育学とメタ認知に関する書籍を採用し、年齢に伴うメタ認知の発達およびメタ認知と学業成績との関係性に関する節を取り上げ、各節の主旨に対する理解について、英語から日本語への翻訳が分かりやすくできるかどうかを問う問題とした。受験者がこれらの文献の意味を理解し、論理的にかつ文法的に正確に英語から日本語に翻訳できるかどうかといった観点から採点を行った。
【一般選抜】 教育政策科学コース（専門科目）	共通問題では、教育政策科学の研究を進めていくうえで必要となる基本的な図表の読み取り能力と、読み取った情報を複数の文脈に位置づけて適切に意味づけ、評価する能力を問う問題とした。領域別の問題について、教育社会学領域では基本的事項について論理的かつ簡潔に説明できる能力と、計量分析で用いられる手法の理解度を問う問題とした。また、教育行政学領域では、日本の教育行政・制度についての基本的な知識に立脚して図表を読み取る能力と、基本的事項について論理的かつ簡潔に説明できる能力を問う問題とした。
【一般選抜】 グローバル共生教育論コース（専門科目）	【設問I：共通問題】は、文部科学省や経済産業省といった多機関で使用されているグローバル人材という用語について、自身の知識に基づき適切に定義できるかを問うと同時に、その育成の課題を論理的に説明できるかを問う問題とした。【設問II】では、近年多文化共生社会づくりで注目されるDiversity・Equity・Inclusion（DEI）という概念について、大学におけるDEIの実現に関する役割と必要な取組みについての問いをとりあげた。受験者自身のDEIに対する知識に基づいて適切に説明ができるか、論理的に大学の役割と必要な取組みを記述できるかどうか、用いられている日本語が適切かといった観点から採点を行った。

令和7（2025）年度第2期 前期課程

科目名	出題意図
【一般選抜】 教育心理学コース（専門科目）	共通問題で領域に共通する基礎的な教育心理学に関する仮説検証型研究の手続きに対する理解について尋ね、指定された用語をすべて適切に用いて論理的に説明できているかどうかを問う問題とした。領域についての知識を問うA問題では、授業設計における教材選択とその効果、知識学習に関連する心理学的知見、および教育評価に関する基礎的知識を問うた。これらについて、問題文の指示に従った上で、適切かつ論理的に説明が行えているか、用いられている用語が適切かといった観点から採点をおこなった。領域についての知識を問うB問題では、L.コールバーグ(L. Kohlberg)による道徳性発達段階理論、乳幼児の社会的参照、Marcia(1966)による「自我同一性地位 (identity status) を取り上げた。これらのトピックについて、問題文の指示に従った上で、自身の有する知識に基づいて適切に説明が行えているか、解答の論理的な展開が適切か、用いられている日本語が適切かといった観点から採点を行った。
【一般選抜】 【社会人特別選抜】 【外国人留学生特別選抜】 臨床心理学コース（専門科目）	設問Ⅰ、Ⅱ、Ⅲでは、心理臨床で起こりうる事案やその理解、対応、留意点、判断基準などに関して、十分な基礎的な理解力を有し、臨床上の柔軟な対応や理解について検討することができ、かつ論理的で整合性を有した適切な説明ができているかを確認した。設問Ⅳでは、臨床心理学や関連領域における重要な専門用語・概念を過不足なく理解した上で、適切な日本語による説明ができているかを確認した。
【社会人特別選抜】 小論文	設問Ⅰでは、文章の内容を読解する能力および解答を論理的に提示する表現能力を問うた。問1では、文章の内容から提起される問題を、自身の経験と照らし合わせつつ考察し、論理的かつ明確に説明する能力を問うた。問2では、問題の解決案を検討・考察し、自らの思考を論理的に表現する能力を問うた。採点は、上記の判定基準に基づいてなされた。設問Ⅱでは、表の各数値を正確に読み取り、数値同士の関係を把握し、そこで確認された問題を、自分の専門分野の知見から説明する能力を問うた。採点は、上記の判定基準に基づいてなされた。

令和 7（2025）年度第 2 期 前期課程

科目名	出題意図
【外国人留学生特別選抜】 小論文	設問Ⅰ：日本語で書かれた文章の読解力と日本語による文章の表現力を確認することを目的とした。日本語の文章を正確に読み取れているか、読み取った文章をもとに巡らせた自分の考えを論理的で正しい日本語の文章にまとめることができているかをもとに採点を行った。 設問Ⅱ：日本語で表現された図表を読み取る力と日本語による文章表現力、研究を具体的に計画できる力を確認することを目的とした。図表を正確に読み取れているか、また各図表間の関係を比較できているか、図表から読み取った情報をもとに自分の考えを論理的で正しい日本語の文章として書くことができているか、仮説設定・研究手法を具体的に考えることができているかをもとに採点を行った。